

Spring 2024

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

春号

2024
Spring





第三弾!

んな場所にも遺跡があった!



前号、前々号では子どもたちの学び舎近くにある遺跡を紹介しましたが、まだまだ意外な場所に遺跡があるんです。今回は、富士宮市のランドマーク付近にある遺跡を紹介します。

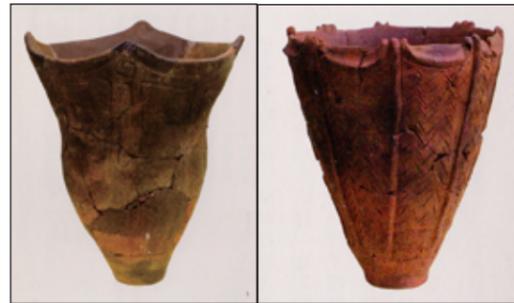
1 こんな所にも! ? ～大石寺の北側～

“こんなところに遺跡が!?”
有名スポット編

大石寺の北側の緩やかな丘陵の上にあるのが、「千居遺跡」です。縄文中期後半の曾利期の遺跡で、20数棟の竪穴住居が重なって発見されました。住居の重なりから、二度の建替えがあり、広場を中心に10棟前後の竪穴住居が建てられていた縄文集落だとわかります。これらは火山灰に埋もれており、富士山の噴火で「ムラ」が存続できなくなったものと考えられています。



曾利式土器 (浅鉢)



曾利式土器 (深鉢)

3 こんな所にも! ? ～猪之頭養鱒場が水源の芝川右岸～

“こんなところに遺跡が!?”
有名スポット編

市内最北端の「上谷戸遺跡」は、猪之頭養鱒場内を水源とする芝川の右岸から西へ広がる縄文中期の遺跡です。水源に近い平地から、中期前半の井戸尻式土器1個体が出土しました。この土器は4個の大きな把手が特徴で、出土した遺跡から「多喜窪重文タイプ」と呼ばれ、関東西部を主体にして分布しています。この遺跡は、関東や中部山岳への文化交流の通過点だったと考えられます。

※把手……取手(とって)のこと



人面文把手



井戸尻式(勝坂式)土器
手前は口縁部につけられた把手

2 こんな所にも! ? ～西富士道路の旧料金所付近～

“こんなところに遺跡が!?”
有名スポット編

「若宮遺跡」は、西富士道路の旧料金所付近の小高い丘陵から南向きの斜面一帯に広がる縄文時代早期の大遺跡です。東西120m、南北50mの範囲に竪穴住居跡28棟をはじめとした多くの遺構が見つかり、発見当時は同時代の中でも全国クラスの早期遺跡として注目されました。土器はおよそ15,000点出土し、それらの文様から関東系と中部系の文化圏が重なり合った特徴的な遺跡と分かります。出土した2,715点の石器うち、80%が石鏃で、狩猟の方法が槍から弓矢に変化したことを物語っています。

※石鏃……矢の先端に付ける矢じり



調査区全景



(左上から時計回りに) 撚糸文土器、山形押型文土器、格子目押型文土器、楕円押型文土器

誰かに話したくなる! 考古学トリビアの壺

縄文あるけど弥生土器! ?

シンプルなイメージの弥生土器ですが、実はさまざまな文様があるって知っていましたか?中には「縄文」のある弥生土器もあるんですよ。

埋蔵文化財センターや博物館などで展示されている土器の文様をじっくり観察するのもお勧めです。



頸部に縄文がくっきり!

he~ he~
Bikkuri!
Shiranakatta!!

2024 春号のプレゼントクイズ! 何本ある?

実用的武器ではなく、祭祀に使われたとされている「石剣」。埋蔵文化財センター展示室にもガラスケースに入って展示されています。さて一体何本の石剣が置いてあるでしょうか。本数を職員に教えてください。埋文グッズを差し上げます!



stone sword

バック ナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』は富士宮市のホームページでご覧になれます。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21



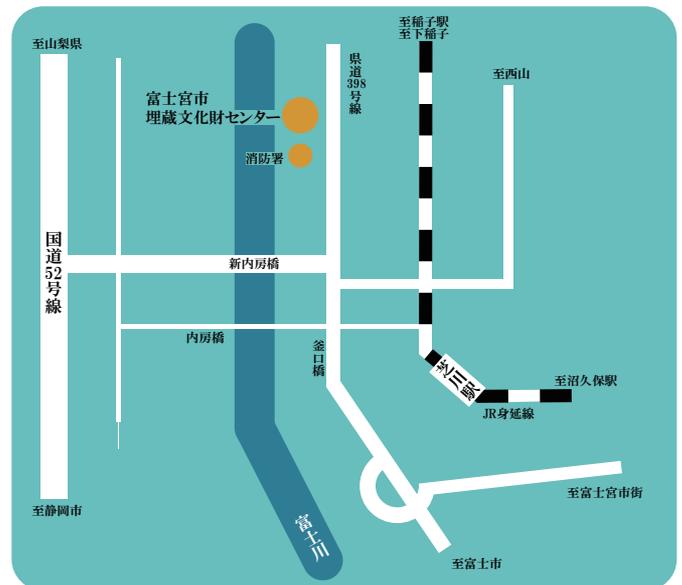
Vol.22



Vol.23

富士宮市埋蔵文化財センター

- 所在地 〒419-0315
静岡県富士宮市長貫 747-1
- 電話 0544-65-5151
FAX 0544-65-2933
E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp
- 展示室 平日
開館日 * 祝日及び年末年始 (12月28日～1月3日) は休館
- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15
- 見学料 無料
駐車場 あり (無料)
- ※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより
もぐらのはなし 春号 (通算 vol.24)

令和6年4月
編集 / 発行 富士宮市埋蔵文化財センター